

郵便はがき



株 主 通 信

2011年3月期 第3四半期

2010年12月末日の株主様に送付しております

株式会社SRAホールディングス

証券コード●3817 <http://www.sra-hd.co.jp/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連 絡 先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

ハガキがめれている場合は乾かしてからご覧ください

株主の皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

情報サービス業界におきましては、顧客のIT投資に対する慎重な姿勢は崩れておらず、依然として厳しい事業環境が続いています。このような状況のもと、第3四半期の業績は、前年同期比で売上高は微減、利益はほぼ横ばいとなりました。

第3四半期で業績が好調だったグループ会社については、その勢いの持続が見込まれますが、中核事業会社である(株)SRAは、年度の計画達成が難しい状況となり、通期業績予想を下方修正しました。SRAにつきましては、収益性向上を目指し、全プロジェクトに対して管理の更なる徹底を図っております。併せて、生産間接費が売上高減少に見合うよう、その適正化にも取り組んでおります。

なお、当期配当金につきましては、従来予想どおり1株につき40円を予定しております。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2011年2月

株式会社SRAホールディングス

代表取締役社長 鹿島 亨

第3四半期 連結業績ポイント解説

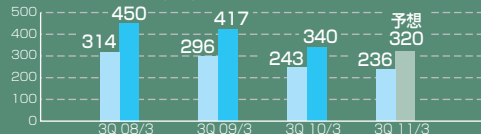
※表示単位未満
切り捨てて表示

売上高 **236**億円 通期予想：320億円 (単位：億円)

<前年同期比2.9%減>

●開発事業の製造および電力向けが増加し、他の減収分をカバー

■第3Q ■通期 ■通期(予想)

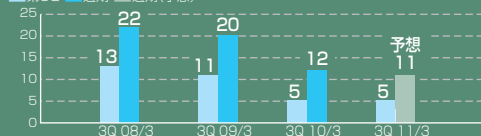


当期純利益 **5**億円 通期予想：11億円 (単位：億円)

<前年同期比1.1%減>

●投資有価証券評価損および関係会社株式評価損等を特別損失に計上

■第3Q ■通期 ■通期(予想)

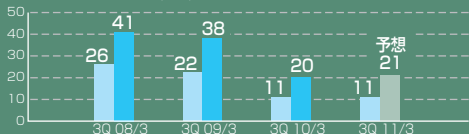


経常利益 **11**億円 通期予想：21億円 (単位：億円)

<前年同期比3.7%増>

●(株)SRA減益だが、(株)AIT、(株)ソフトウェア・サイエンスが増益

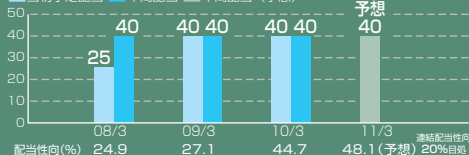
■第3Q ■通期 ■通期(予想)



1株当たり配当金 (単位：円)

●配当金は40円の維持を予定

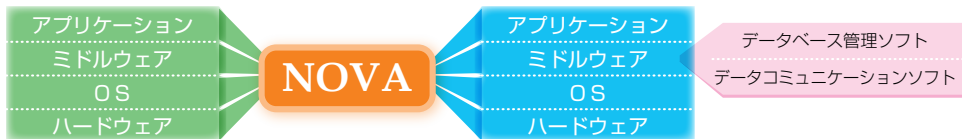
■当初予定配当 ■年間配当 ■年間配当(予想)



nSolutions, Inc.との業務・資本提携について

ビジネスの変化やクラウドの普及への対応に伴い、データセンターのインフラ管理が複雑化すると共に、扱われるデータの重要性も増えています。最近、データセンターの「安全で確実な運用」という課題へのソリューションとして注目を集めているのが「DCA（データセンターオートメーション）」です。SRAホールディングスの連結子会社であるSRA OSS, Inc.（本社：米国）が昨年12月に業務・資本提携を行ったnSolutions社は、DCA製品・サービス「NOVA」を提供している会社です。今後は、米国・中南米の成功事例、両社の優位性を活かし、日本、欧州、さらには中国、インド、ASEAN等へのグローバル展開を目指していきます。なお、今回の提携は、「自社IP製品ビジネス」の推進および「海外ビジネス」の収益機会の拡大に対する取り組みの一環（布石）です。

※自社IP製品：知的財産権を有する自社ブランド製品



Topics

2011年2月、SRA先端技術研究所 リサーチディレクター 中小路 久美代が文部科学省 科学技術・学術審議会（野依良治会長 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu0/index.htm）の委員に任命されました。中小路は、奈良先端科学技術大学客員助教授、東京大学特任教授を歴任しています。

さらに詳細なIR情報は、こちらからご覧ください ▶ 投資家情報ウェブサイト <http://www.sra-hd.co.jp/ir/>